



PHONE APPLI PEOPLE

PHONE APPLI PEOPLE  
Salesforce 連携オプション  
設定マニュアル

# Salesforce連携オプション 設定 目次

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプションを設定するための目次です。

各 設定のリンクをご活用ください。

## step1

### 初期設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプションを利用できる状態にする

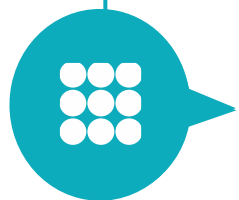
0. [初期設定 目次](#)
1. [はじめに](#)
2. [PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプションのインストール](#)
3. [初期設定](#)

## step2

### 管理者設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプションの利用環境を整える

0. [管理者設定 目次](#)
1. [標準機能設定](#)
2. [リード連携設定](#)
3. [取引先連携設定](#)



# 初期設定

## 初期設定 目次

step1

### 初期設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプションを利用できる状態にする

1. [はじめに](#)
2. [PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション のインストール](#)
3. [初期設定](#)
  - 3-1. [ユーザライセンスの付与](#)
  - 3-2. [権限セットの割り当て](#)

# 初期設定

---

## 1. はじめに

このたびはPHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプションをご導入頂きましてありがとうございます。本初期設定マニュアルは、Salesforceシステム管理者様が、初回に設定頂く内容をまとめたマニュアルとなります。

## 2. PHONE APPLI PEOPLE

### Salesforce連携オプションのインストール

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプションのパッケージのインストールを行います。

※Salesforceのシステム管理者権限でインストールを行ってください。

1. インストールするSalesforce環境にログインした状態で、メールでお送りしているPHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプションインストールパッケージのURLをクリック
2. 画面に沿って、管理者インストールを行います。  
管理者のみのインストールにチェックを入れ、[インストール] をクリック



3. [完了] を押下し、インストール完了のメールが届くまでお待ちください。  
※ インストールには数分かかります。
4. 「パッケージ「PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション」のインストールに成功しました」というメールが届いたら、インストール完了です。

# 初期設定

## 3. 初期設定

本章では、本アプリを使用するための設定方法について説明します。

※設定は必ずSalesforceシステム管理者権限ユーザが行ってください。

※初期設定は、Salesforceの設定画面より行います。

※Salesforceの設定は、画面右上のギアマークより行います。



## 3-1. ユーザライセンスの付与

目的：PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション使用権限をユーザに付与  
※PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション のユーザ追加・変更時にも必ず本作業を行ってください。

※Sandboxへインストール時はスキップしてください。

1. 画面右上 [ギアマーク] - [設定] - [プラットフォームツール] - [アプリケーション] - [インストール済みパッケージ] をクリック  
※もしくは、クイック検索で「インストール済みパッケージ」と検索
2. 右のインストールパッケージ一覧より、「PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション」の [ライセンスの管理] をクリック

### インストール済みパッケージ

Force.com AppExchange ページでは、開発済みのアプリケーションやコンポーネントを参照したり、トライアルをしたり、ダウンロードして、お客様の salesforce.com 環境にインストールの詳細はこちらをご覧ください。

アプリケーションやコンポーネントは、パッケージでインストールされます。インストール直後は、すべてのカスタムアプリケーション、タブ、およびカスタムオブジェクトに「開発中」のステータスがあります。このため、アプリケーションをテストおよびカスタマイズしてからリリースできます。コンポーネントは、[リリース] をクリックして、他の設定機能を使用して個々にリリースしたり、インストール済みパッケージの横にあるリンクにより、このページから別のアクションを実行できます。

パッケージを削除するには、[アンインストール] をクリックします。パッケージのライセンスを管理するには、[ライセンスの管理] をクリックします。

アンインストール   ライセンスの管理	PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携 オプション	株式会社PHONE APPLI	1.13	adapter	有効	5	1
---------------------	---------------------------------------	-----------------	------	---------	----	---	---

3. PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション  
利用ユーザにチェックを入れて、[追加] をクリックし、  
対象ユーザにライセンスを追加します。

### パッケージの詳細

#### PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション

前のページに戻る

プラットフォームインテグレーションに対して有効化

パッケージ名	PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション	公開者	株式会社PHONE APPLI
状況	有効	許可されているライセンス数	5
有効期限	有効期限はありません	使用ライセンス	1

プラットフォームインテグレーションに対して有効化済み

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | A | カ | サ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | フ | その他 | すべて

#### ライセンスを付与したユーザ

ユーザの追加

アクション	氏名	ロール	有効	プロフィール
削除	admin_user	営業本部	✓	システム管理者



# 初期設定

## 3-2. 権限セットの割り当て

目的：PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプションの権限割り当てを行います

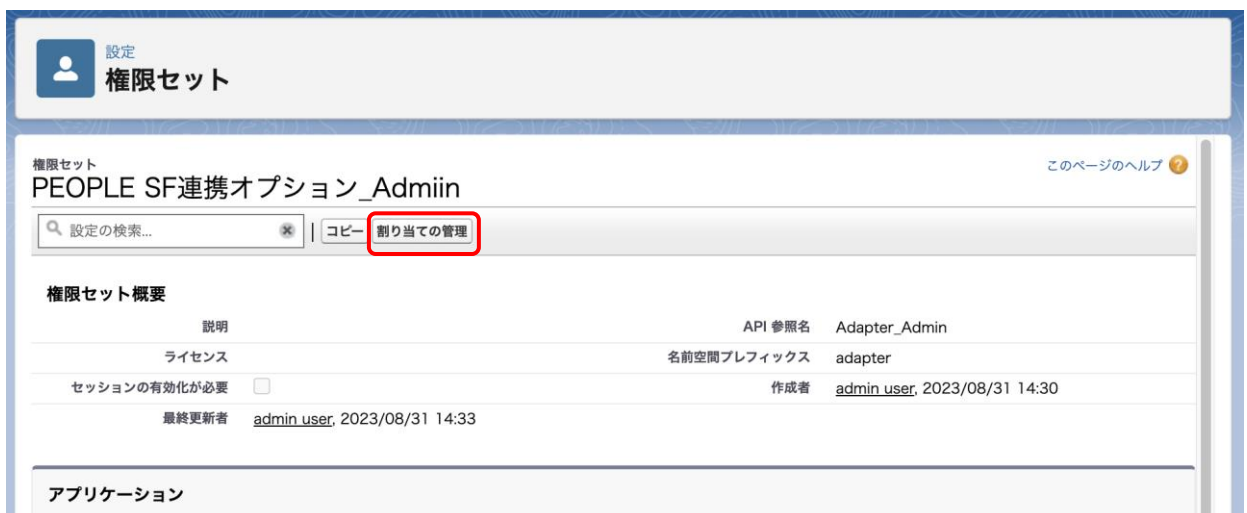
- ・管理者ユーザ → 「PEOPLE SF連携オプション\_Admin」を選択
- ・一般ユーザ → 「PEOPLE SF連携オプション\_User」を選択

※以下は管理者ユーザに権限を割り当てる際の手順です。

1. 画面右上 [ギアマーク] - [設定] - [管理] - [ユーザ] - [権限セット] - [PEOPLE SF連携オプション\_Admin] をクリック



2. [割り当ての管理] をクリック



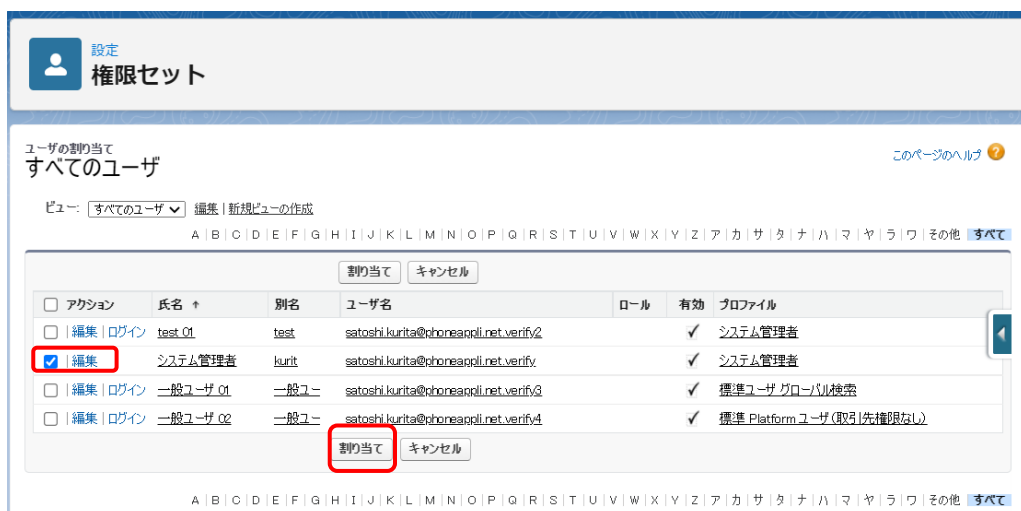
# 初期設定

## 3-2. 権限セットの割り当て

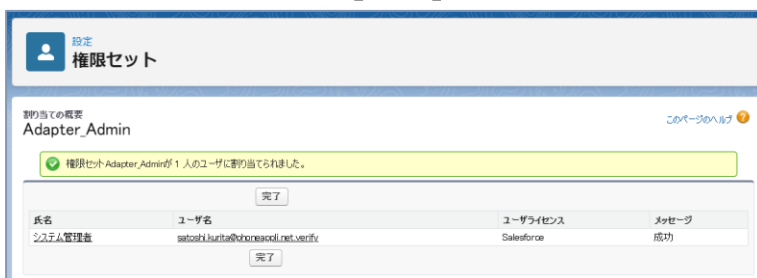
### 3. [割り当ての管理] をクリック



### 4. 管理者ユーザのチェックボックスにチェックを入れて、[割り当て] をクリック

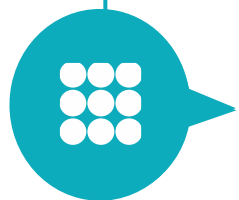


### 5. 以下画面になったら、[完了] をクリック



以上で割り当ては成功です。

※対象のユーザが複数いる場合は、3~5の作業をユーザごとに行ってください。



# 管理者設定

## step2

### 管理者設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプションの  
利用環境を整える

#### 1. 管理者設定

- 1-1. [名刺読み込み設定](#)
- 1-2. [データ連携共通設定](#)
- 1-3. [取引先連携管理](#)
- 1-4. [リード連携管理](#)
- 1-5. [項目のマッピング設定（カスタム項目）](#)
- 1-6. [自動判別連携について](#)



# 管理者設定

## 1-1. 名刺読み込み設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション

[管理者設定] - [名刺読み込み設定] より、設定を行います。

※事前にPEOPLE側でユーザ設定にてPAAPI権限利用の有効が必要となります。

### 名刺読み込み設定

PEOPLEから名刺を読み込む際の設定を行います。

#### 1 PHONE APPLI API用のキー登録

PEOPLEからデータ連携するためのAPIキーを登録してください。

APIキーの追加

名称	登録ユーザ	登録日時	削除
PEOPLE 管理者01	admin user	2023-08-28 16:14:55	削除
PEOPLE 管理者02	admin user	2023-08-28 16:14:05	削除

#### 2 連携対象フォルダの最新化

フォルダ情報最新化ボタンを押下して、PEOPLEから最新の連携可能なフォルダを取得してください。

フォルダ情報最新化

最終更新日時： 2023/08/28 16:22

## 2. PHONE APPLI PEOPLEとの接続を行います。

「APIキーの追加」ボタンを押下し

名称、及び、発行したAPIキーを入力してください。

フォルダの参照権限があるユーザが複数存在する場合、必要なユーザの分、上記の認証を行ってください。

**連携対象フォルダの最新化を行います。**

フォルダ情報最新化ボタンを押下してください。

連携対象として選択可能なフォルダの一覧が表示されます。

# 管理者設定

## 1-1. 名刺読み込み設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション  
[管理者設定] - [名刺読み込み設定] より、設定を行います。

### 3 連携対象フォルダの選択

連携対象とするフォルダを選択してください。

フォルダ名で検索

1/1 (全2件)

<input type="checkbox"/> 連携	対象フォルダ名称	キャンペーン	リードソース	キャンペーン・リードソース選択
<input checked="" type="checkbox"/>	共有フォルダ01 [ID:296]			<input type="button" value="変更"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	共有フォルダ02 [ID:297]			<input type="button" value="変更"/>

### 3. 連携対象フォルダの選択

連携対象とするフォルダにて、連携のチェックボックスをON にして、保存ボタンを押下してください。

連携時に、キャンペーン、リードソース を指定して連携を行いたい場合は、「キャンペーン・リードソース選択」の変更ボタンを押下し、選択してください。

# 管理者設定

## 1-1. 名刺読み込み設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション  
[管理者設定] - [名刺読み込み設定] より、設定を行います。

The image shows two screenshots of a web application's configuration interface. The top screenshot, titled '4 名刺読み込み条件設定' (Business Card Import Conditions), contains three toggle switches, all of which are turned on (checked). The first toggle is labeled '手動登録のデータを連携対象とする' (Link imported data as target). The second is 'OCR名刺登録済みのデータを連携対象とする' (Link OCR-processed data as target). The third is 'オペレータ入力済のデータを連携対象とする' (Link operator-entered data as target). Below the toggles is a blue '保存' (Save) button. The bottom screenshot, titled '5 社外連絡先の所有者の設定' (Setting of External Contact Owner), contains one toggle switch, which is turned on and labeled 'PEOPLEでの名刺登録者を社外連絡先の所有者にする' (Set PEOPLE business card registrants as external contact owners). Below the toggle is a text input field containing 'admin user' and a close button (X). Below the input field is a blue '保存' (Save) button.

### 4. 名刺読み込み条件設定

- ・手動登録のデータを連携対象とする  
ONの場合、手動登録やインポートで登録された名刺データが連携対象となります。
- ・OCR名刺登録済みのデータを連携対象とする  
ONの場合、オペレータ入力を使用せずに登録した名刺データが連携対象となります。
- ・オペレータ入力済のデータを連携対象とする  
ONの場合、オペレータ入力を使用して登録した名刺データが連携対象となります。

### 5. 社外連絡先の所有者の設定

ONの場合、PEOPLE と Salesforce のユーザIDが一致する場合、PEOPLEで名刺を登録したユーザがSalesforce上の社外連絡先の所有者となります。  
PEOPLEと同一のユーザIDが存在しない場合は、指定したユーザが所有者となります。

※比較対象の項目は下記の通りです。  
PEOPLEのユーザID：社外連絡先オブジェクト - 名刺登録者  
PEOPLEログインID  
SalesforceのユーザID：ユーザーオブジェクト- ユーザー名



# 管理者設定

## 1-1. 名刺読み込み設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション  
[管理者設定] - [名刺読み込み設定] より、設定を行います。

6 一括設定用CSVエクスポート

「連携対象」「リードソース」「キャンペーン」を一括で更新するにはこちらからCSVをエクスポートしてください。

連携対象フォルダエクスポート    選択可能なキャンペーンエクスポート    選択可能なリードソースエクスポート

7 一括設定用CSVインポート

一括設定用のCSVを選択してファイルをインポートしてください。

Upload Files    選択されていません。

インポートファイルと取込方法を選択してください。

CSVインポート

### 6. 一括設定用CSVエクスポート

- ・連携対象フォルダエクスポート

現在の設定値をエクスポートします。

- ・選択可能なキャンペーンエクスポート
- ・選択可能なリードソースエクスポート

設定可能なキャンペーン、リードソースをエクスポートし参照できます。

### 7. 一括設定用インポート

以下の通り、エクスポートしたCSVを編集し、インポートします。

#### キャンペーンID :

キャンペーン連携を行う場合は、対象のキャンペーンのIDを指定

#### キャンペーン名 :

キャンペーン連携を行う場合は、対象のキャンペーン名を指定

#### リードソース :

リードソースを指定し連携を行う場合は、  
対象のリードソースを指定

#### 連携対象 :

連携対象の場合は「TRUE」、連携対象外の場合は、「FALSE」

※レコードID、対象フォルダ、対象フォルダIDは変更しません。

# 管理者設定

## 1-1. 名刺読み込み設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション  
[管理者設定] - [名刺読み込み設定] より、設定を行います。

### 8 スケジュールを設定

連携処理のスケジュールを設定して下さい。

[スケジュールを設定](#) 最終読み込み日時： 2023/11/24 15:00:01

### 未連携名刺の自動読み込みスケジュール設定

名刺連携実施間隔

ユーザー設定 ▼ 10分 ▼ 間隔

読み込みスケジュール：10分ごと

初回連携実行日時

2023/11/08 📅 00:00 ▼

### 8. PHONE APPLI PEOPLE から名刺を取り込むスケジュールを設定します。

毎日/毎週/ユーザー設定 を選択できます。

毎日を選択した場合は、実行時間を1時間単位で選択できます。

毎週を選択した場合は、実行する曜日、及び、実行時間を1時間単位で選択できます。

ユーザー設定を選択した場合は、実行時間を 12時間、6時間、3時間、1時間、30分、10分間隔 のいずれかから選択できます。

初回連携実行日時 に指定した時刻に、名刺連携実施間隔 の時間ごとに、連携処理が開始されます。

## 1-2. データ連携共通設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション  
[管理者設定] - [データ連携共通設定] より、設定を行います。

### 1 連携結果メール送信設定

連携結果のメール送信条件を選択して下さい。

連携成功・失敗どちらの場合もメール送信する

失敗メールのみ送信する

連携成功・失敗どちらの場合もメール送信しない

連携結果メールの送信元メールアドレス名

### 1. 連携結果が記載されたメールの送信設定を行います。

連携結果メールの送信元メールアドレス名は、Salesforceの標準の設定の「組織のアドレス」で登録されているアドレスを選択可能です。  
※『すべてのプロファイルにこの送信元アドレスの使用を許可』が設定されている必要があります。

送信先は、以下の通りです。

日次のバッチで連携される場合：スケジュールを設定したユーザ  
社外連絡先画面から自動/手動連携した場合：連携を実施したユーザ

## 1-2. データ連携共通設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション  
[管理者設定] - [データ連携共通設定] より、設定を行います。

### 2 読み込んだ名刺の連携設定

名刺読み込みと同時に連携を実行する場合の連携条件を下記の中から選択してください。

- 読み込みと同時の連携は行わない
- 全て取引先/取引先責任者に連携する
- 全てリードに連携する
- 取引先/取引先責任者レコードが存在している場合は該当レコードへ、存在していない場合はリードへと自動判別して連携を行う

## 2. PHONE APPLI PEOPLE から名刺を取り込んだ後に、取引先/リードに連携を行う際の設定を行います。

### ・読み込みと同時の連携は行わない

→社外連絡先 に名刺情報が登録され、取引先/リードへの連携は行われません。

### ・全て取引先/取引先責任者に連携する

→社外連絡先 に名刺情報が登録され、すべて取引先/取引先責任者に連携を行います。

連携時の設定は、後述の「取引先連携管理」のページをご確認ください。

### ・全てリードに連携する

→社外連絡先 に名刺情報が登録され、すべてリードに連携を行います。

連携時の設定は、後述の「リード連携管理」のページをご確認ください。

### ・取引先/取引先責任者レコードが存在している場合は該当レコードへ、存在していない場合はリードへと自動判別して連携を行う

→後述の「1-6. 自動判別連携について」のページに詳細を記載しておりますので、ご確認ください。

## 1-2. データ連携共通設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション

[管理者設定] - [データ連携共通設定] より、設定を行います。

### 3 データ連携条件設定

データ連携の条件を選択してください。

- キャンペーン登録機能を利用する
- 取引先・リード自動判別連携
- 取引先が存在するが、取引先責任者が存在しない場合、取引先責任者を作成する
- 取引先連携、リード連携時に会社名の法人格を正式名称に変換する

### 3. キャンペーン登録機能を利用する

ONにすると、社外連絡先一覧画面から手動で連携を行う場合のみ、キャンペーンと紐付けることができます。

### 4. 取引先・リードの自動判別連携

ONにすると、自動判別連携の機能が有効化されます。

自動判別連携についての説明は、後述の「1-6. 自動判別連携について」のページをご確認ください。

### 5. 取引先が存在するが、取引先責任者が存在しない場合、取引先責任者を作成する

自動判別連携を有効化した場合に設定が行えます。後述の「1-6. 自動判別連携について」のページをご確認ください。

### 6. 取引先連携、リード連携時に、会社名の法人格を正式名称に変換する

ONにすると、社外連絡先に登録された（株）等の法人格の略称を、取引先、リード連携時に、株式会社等の正式な法人格に変換し、連携されます。

# 取引先連携設定

## 1-3. 取引先連携管理設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション  
[管理者設定] - [取引先連携管理] より、設定を行います。

### 基本設定

1 該当する取引先データが存在していなかった場合の対処

A. 新規作成する

B. 新規作成せず、連携は行わない

### 取引先の条件設定

2 取引先名一致条件の曖昧さレベル

明確	レベル	一致条件	一致するデータ例
	<input checked="" type="checkbox"/> 0	完全一致	株式会社Phone Appli 株式会社Phone Appli
	<input checked="" type="checkbox"/> 1	法人格の表記方式を許容	(株) Phone Appli 株式会社Phone Appli
	<input checked="" type="checkbox"/> 2	法人格前後のスペース（全/半角）を許容	株式会社Phone Appli 株式会社 Phone Appli
	<input type="checkbox"/> 3	法人格以外の部分の全/半角を許容	株式会社Phone Appli 株式会社 P h o n e A p p l i
	<input type="checkbox"/> 4	法人格の位置（前/後）を許容	株式会社Phone Appli Phone Appli株式会社
	<input type="checkbox"/> 5	法人格の有無を許容	株式会社Phone Appli 財団法人Phone Appli
曖昧	<input type="checkbox"/> 6	会社名本体内のスペース（全/半角）を許容	株式会社Phone Appli 株式会社PhoneAppli

### 1. 該当する取引先データが存在していなかった場合の対処

社外連絡先と一致する取引先が存在していなかった場合の連携設定です。  
一致条件は以下の項目で設定できます。

### 2. 取引先名一致条件の曖昧さレベル

取引先名の表記ゆれに対して、許容するレベルを設定します。  
一致するデータの例 を参考に設定してください。

# 取引先連携設定

## 1-3. 取引先連携管理設定

### 3 取引先、取引先責任者の一致条件に使用する項目をカスタマイズする



カスタマイズ

#### 取引先、取引先責任者の一致条件カスタマイズ

##### 取引先検索の一致条件カスタマイズ

社外連絡先の項目	取引先の項目
会社名	取引先名
URL1	Web サイト
会社郵便番号	郵便番号(請求先)
都道府県	都道府県(請求先)
市区町村	市区都(請求先)

優先順位	一致条件	使用有無	並び替え
1	取引先名+都道府県+市区都	<input checked="" type="checkbox"/>	↑ ↓
2	取引先名+郵便番号	<input checked="" type="checkbox"/>	↑ ↓
3	取引先名+Web サイト	<input checked="" type="checkbox"/>	↑ ↓
4	取引先名のみ	<input checked="" type="checkbox"/>	↑ ↓

##### 取引先責任者検索の一致条件カスタマイズ

社外連絡先の項目	取引先責任者の項目
Email1	メール
姓	姓
名	名

優先順位	一致条件	使用有無	並び替え
1	メール	<input checked="" type="checkbox"/>	↑ ↓
2	姓+名	<input checked="" type="checkbox"/>	↑ ↓
3	メール+姓+名	<input checked="" type="checkbox"/>	↑ ↓

### 4 メールアドレスデータの形式が正しくなかった場合



- A. 連携を行わない  
 B. メールアドレスを空欄にして登録する

### 5 取引先新規作成時の所有者の割当



#### 自動連携

- A. 取引先の所有者に連携の実行ユーザを割当る  
 B. 取引先の所有者に社外連絡先の所有者を割当る

#### 手動連携

- A. 取引先の所有者に連携の実行ユーザを割当る  
 B. 取引先の所有者に社外連絡先の所有者を割当る

### 3. 取引先、取引先責任者の一致条件に使用する項目をカスタマイズする

「カスタマイズ」ボタンを押下すると、設定画面が表示されます。  
一致条件の使用有無、優先順位の並び替えを行うことができます。  
一致するデータが見つかるまで、優先順位の高い条件から順に使用されます。  
また、一致条件に使用する項目を選択することができます。  
標準項目、カスタム項目から選択可能です。

### 4. メールアドレスデータの形式が正しくなかった場合

社外連絡先データにあるメールアドレスの形式が正しくなかった場合の対処を予め設定しておくことが可能です。

### 5. 取引先新規作成時の所有者の割当

取引先を新規作成する場合に、取引先の所有者を各連携処理ごとに設定できます。

# 取引先連携設定

## 1-3. 取引先連携管理設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション  
[管理者設定] - [取引先連携管理] より、設定を行います。

6	取引先のレコードタイプ設定	?
<input type="checkbox"/>	取引先の一致条件にレコードタイプを加える	
7	連携対象とする取引先の設定	
<input checked="" type="checkbox"/>	親取引先が存在する場合は親取引先に連携する	
8	取引先の更新条件	?
<input checked="" type="checkbox"/>	取引先の空欄項目のみを更新する	

### 6. 取引先の一致条件にレコードタイプを加える

社外連絡先一覧画面から取引先連携を行う場合において、連携対象の取引先を検索する際の条件にレコードタイプを追加します。

※PEOPLEからの名刺連携時に自動で取引先連携が行われる場合には、この設定が有効になっていても、レコードタイプは一致条件に追加されません。

### 7. 親取引先が存在する場合は親取引先に連携する

この設定がONの場合、連携対象の取引先に親取引先が存在する場合は、親取引先に紐づく取引先責任者を作成、更新します。

### 8. 取引先の更新条件

この設定がONの場合、既存の取引先を更新する際に、空欄の項目にのみ値をセットされ、既に値がセットされている項目は更新されません。



# 取引先連携設定

## 1-3. 取引先連携管理設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション  
[管理者設定] - [取引先連携管理] より、設定を行います。

取引先責任者の条件設定

---

**9 取引先責任者の一致条件設定** ?

A. メールアドレス一致

B. 姓名一致

C. メールアドレスと姓名一致

---

**10 検索条件に一致する取引先責任者が存在していなかった場合**

A. 取引先責任者を新規作成する

B. 取引先責任者を新規作成せず、連携は行わない

---

**11 条件に一致する取引先責任者が複数いた場合の連携設定**

A. 最終更新日が最も新しい取引先に対して連携を行う

B. 全てを更新する

---

**12 同一社名の取引先が複数存在していた場合**

A. 最終更新日が最も新しい取引先に対して取引先責任者を新規作成する

B. どの取引先にも取引先責任者を新規作成しない

### 9. 取引先責任者の一致条件設定

一致条件を、メールアドレス、姓名の組み合わせの3つから選ぶことができます。

※取引先、取引先責任者の一致条件に使用する項目をカスタマイズするがOFFの場合、設定可能です。

### 10. 検索条件に一致する取引先責任者が存在していなかった場合

新規に取引先責任者を作成するかを設定できます。

### 11. 条件に一致する取引先責任者が複数いた場合の連携設定

取引先責任者の更新方法を選択できます。

※取引先、取引先責任者の一致条件に使用する項目をカスタマイズするがONの場合、設定可能です。

### 12. 同一社名の取引先が複数存在していた場合

取引先の更新方法を選択できます。

# 取引先連携設定

## 1-3. 取引先連携管理設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション  
[管理者設定] - [取引先連携管理] より、設定を行います。

### 13 取引先責任者作成時の所有者の割当

#### 自動連携

- A. 取引先責任者の所有者に連携の実行ユーザを割当る
- B. 取引先責任者の所有者に社外連絡先の所有者を割当る

#### 手動連携

- A. 取引先責任者の所有者に連携の実行ユーザを割当る
- B. 取引先責任者の所有者に社外連絡先の所有者を割当る

### 14 取引先責任者更新時の所有者の割当

#### 自動連携

- A. 取引先責任者の所有者に連携の実行ユーザを割当る
- B. 取引先責任者の所有者に社外連絡先の所有者を割当る
- C. 変更しない

#### 手動連携

- A. 取引先責任者の所有者に連携の実行ユーザを割当る
- B. 取引先責任者の所有者に社外連絡先の所有者を割当る
- C. 変更しない

### 13.取引先責任者作成時の所有者の割当

取引先責任者を新規作成する場合に、取引先責任者の所有者を各連携処理ごとに設定できます。

### 14.取引先責任者更新時の所有者の割当

取引先責任者を更新する場合に、取引先責任者の所有者を各連携処理ごとに設定できます。

# 取引先連携設定

## 1-3. 取引先連携管理設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション  
[管理者設定] - [取引先連携管理] より、設定を行います。

<b>15</b> 取引先責任者のレコードタイプ設定 <span style="float: right;">?</span>
<input type="checkbox"/> 取引先責任者の一致条件にレコードタイプを加える
<b>16</b> 検索条件に一致する取引先責任者が既に存在している場合の更新条件 <span style="float: right;">?</span>
<input type="radio"/> A. いかなる所有者の場合も更新を行う
<input type="radio"/> B. 取引先責任者の所有者と連携の実行ユーザが同一の場合のみ更新を行う
<input checked="" type="radio"/> C. 取引先責任者の所有者と社外連絡先の所有者が同一の場合のみ更新を行う
<input type="radio"/> D. いかなる所有者の場合も更新は行わない

### 15. 取引先責任者の一致条件にレコードタイプを加える

社外連絡先一覧画面から取引先連携を行う場合において、連携対象の取引先責任者を検索する際の条件にレコードタイプを追加します。

※PEOPLEからの名刺連携時に自動で取引先連携が行われる場合には、この設定が有効になっていても、レコードタイプは一致条件に追加されません。

### 16. 検索条件に一致する取引先責任者が既に存在している場合の更新条件

取引先責任者を更新する場合に、取引先責任者の所有者により、更新有無を設定できます。

# 取引先連携設定

## 1-3. 取引先連携管理設定

PHONE APPLI PEOPLE Salesforce連携オプション  
[管理者設定] - [取引先連携管理] より、設定を行います。

17 取引先用マッピング ?

取引先の項目	社外連絡先の項目	追加・削除
取引先名	会社名	
Web サイト	URL1	
取引先 電話	電話番号	
取引先 Fax	Fax	
郵便番号(請求先)	会社郵便番号	
都道府県(請求先)	都道府県	
市区郡(請求先)	市区町村	
町名・番地(請求先)	番地 + 建物名	
郵便番号(納入先)	会社郵便番号	
都道府県(納入先)	都道府県	
市区郡(納入先)	市区町村	
町名・番地(納入先)	番地 + 建物名	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	+ -

18 取引先責任者用マッピング ?

取引先責任者の項目	社外連絡先の項目	追加・削除
姓	姓	
名	名	
部署	部署	
役職	役職	
電話	電話番号	
携帯電話	会社携帯電話	
自宅電話		
Fax	Fax	
その他の電話		
メール	Email1	
郵便番号(郵送先)	会社郵便番号	
都道府県(郵送先)	都道府県	
市区郡(郵送先)	市区町村	
町名・番地(郵送先)	番地 + 建物名	
郵便番号(その他)	会社郵便番号	
都道府県(その他)	都道府県	
市区郡(その他)	市区町村	
町名・番地(その他)	番地 + 建物名	
取引先責任者 説明	備考	
PEOPLEリンク	PEOPLEリンク	+ -
<input type="text"/>	<input type="text"/>	+ -

### 17.取引先用マッピング

### 18.取引先責任者用マッピング

マッピングする項目を選択できます。標準項目、カスタム項目ともに選択可能です。  
+ボタンで行の追加、-ボタンで行の削除ができます。

# リード連携設定

## 1-4. リード連携

連携条件設定

- 既存のリードを検索する際の一致条件
  - A.メールアドレス一致
  - B.会社名・姓名一致
  - C.メールアドレス及び、会社名・姓名一致

リードの一致条件にレコードタイプを加える
- Salesforce側に、条件が一致するリードが存在している場合
  - A.連携を行わない（連携はエラーとなります）
  - B.連携を行い、リードを上書きする
  - C.別リードで新規作成を行う
- Salesforce側に、取引先に昇格したリード（リードのページでは非表示）がデータベース上に残っていた場合
  - A.非表示となっているリードへ連携を行う（連携後もリードページには表示されません）
  - B.取引先/取引先責任者へ連携を行う
- リード連携を行う際、無効なメールアドレスだった場合の対処 ?  
設定項目1の一致条件でBの『会社名・姓名一致』を選択している場合
  - A.一致条件に合致するリードが存在している場合はそのリードに対し上書き・連携を行い、存在していない場合は新規作成を行う（いずれもメールアドレスは空欄となります）
  - B.連携も新規作成も行わない（連携エラーとなります）設定項目1の一致条件でAもしくはCを選択し、メールアドレスの一致を条件に入れている場合
  - A.メールアドレスを空欄にしてリードの新規作成を行う
  - B.新規作成は行わない（連携エラーとなります）
- リードの更新時に所有者の変更を行う

### 1. 既存のリードを検索する際の一致条件

一致条件を、メールアドレス、姓名の組み合わせの3つから選ぶことができます。

取引先責任者の一致条件にレコードタイプを加えるをONにした場合、社外連絡先一覧画面からリード連携を行う場合において、連携対象のリードを検索する際の条件にレコードタイプを追加します。

※PEOPLEからの名刺連携時に自動でリード連携が行われる場合には、この設定が有効になっていても、レコードタイプは一致条件に追加されません。

### 2. Salesforce側に、条件が一致するリードが存在している場合

リードを更新する/新規作成する 設定を行います。

### 3. Salesforce側に、取引先に昇格したリードがデータベース上に残っていた場合

Bを選択すると、リード連携実施時においても、昇格した取引先/取引先責任者に連携が行われます。

### 4. リード連携を行う際、無効なメールアドレスだった場合の対処

設定項目1で選択している値によって、変更可能な設定が異なります。

### 5. リードの更新時に所有者の変更を行う

この設定がONの場合、リード連携時に、リードの所有者を社外連絡先の所有者で上書きします。

# リード連携設定

## 1-4. リード連携

6 リード連携用マッピング管理 ?

リードの項目	社外連絡先の項目	追加・削除
姓	姓 <input type="text"/>	
名	名 <input type="text"/>	
会社名	会社名 <input type="text"/>	
役職	役職 <input type="text"/>	
電話	電話番号 <input type="text"/>	
携帯電話	会社携帯電話 <input type="text"/>	
Fax	Fax <input type="text"/>	
メール	Email1 <input type="text"/>	
Web サイト	URL1 <input type="text"/>	
郵便番号	会社郵便番号 <input type="text"/>	
都道府県	都道府県 <input type="text"/>	
市区郡	市区町村 <input type="text"/>	
町名・番地	番地 + 建物名 <input type="text"/>	
<input type="text" value="PEOPLEリンク"/>	PEOPLEリンク <input type="text"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>

### 6. リード連携用マッピング

リード連携時、リードに登録する項目を選択してください。  
標準項目、カスタム項目ともに選択可能です。



# 取引先/リード連携設定

## 1-5. 項目のマッピング設定（カスタム項目）

3. セットしたカスタム項目をマッピングします。

取引先連携の場合：

PEOPLE [管理者設定]-[取引先連携管理]-[取引先用マッピング]、  
[取引先責任者用マッピング]より、設定を行います。

リード連携の場合：

PEOPLE [管理者設定]-[リード連携管理]-[リード連携用マッピング管理]より、  
設定を行います。

※下記はリード連携の例となります。

リードの項目	社外連絡先の項目
姓	姓
名	名
会社名	会社名
役職	役職
電話	電話番号
携帯電話	会社携帯電話
Fax	Fax
メール	Email1
Web サイト	URL1
郵便番号	会社郵便番号
都道府県	都道府県
市区郡	市区町村
町名・番地	番地 + 建物名
PEOPLEリンク	PEOPLEリンク
マッピングテスト	マッピングテスト

設定で追加した項目が選択できるようになります。



# 自動判別連携について

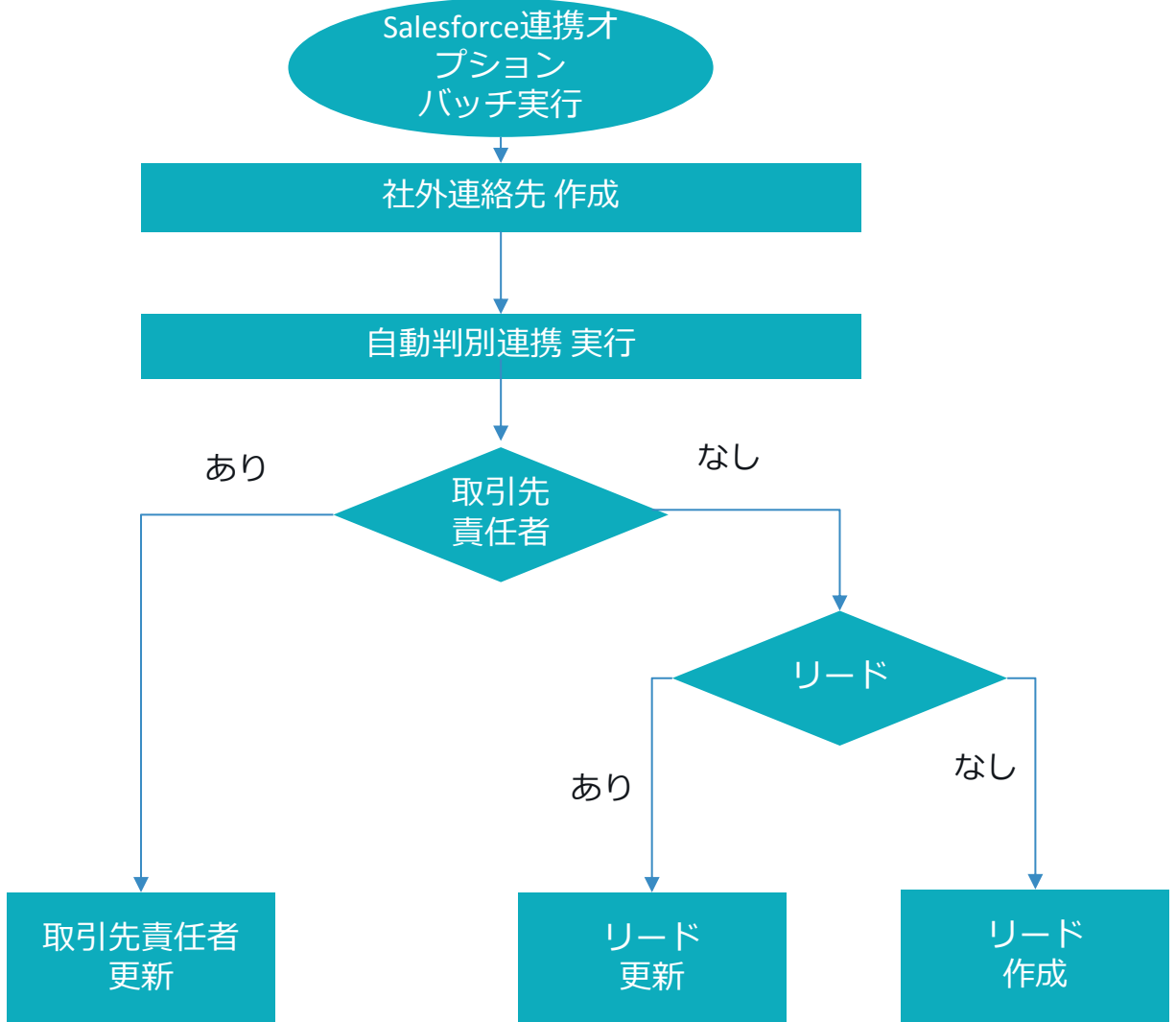
## 1-6. 自動判別連携について

データ連携共通設定から、取引先・リード自動判別連携 の設定を **ON**、かつ、取引先が存在するが、取引先責任者が存在しない場合、取引先責任者を作成するを **OFF** にした場合、以下のような処理が行われます。

3 データ連携条件設定

データ連携の条件を選択してください。

- キャンペーン登録機能を利用する
- 取引先・リード自動判別連携
- 取引先が存在するが、取引先責任者が存在しない場合、取引先責任者を作成する
- 取引先連携、リード連携時に会社名の法人格を正式名称に変換する



# 自動判別連携について

## 1-6. 自動判別連携について

データ連携共通設定から、取引先・リード自動判別連携 の設定を **ON**、かつ、取引先が存在するが、取引先責任者が存在しない場合、取引先責任者を作成するを **ON** にした場合、以下のような処理が行われます。

3 データ連携条件設定

データ連携の条件を選択してください。

- キャンペーン登録機能を利用する
- 取引先・リード自動判別連携
- 取引先が存在するが、取引先責任者が存在しない場合、取引先責任者を作成する
- 取引先連携、リード連携時に会社名の法人格を正式名称に変換する

